

## ユーザー探訪

セイフティレコーダで安全意識改革をはかる！

### 前山倉庫株式会社

代表取締役社長 前山 諭様にインタビュー



#### 前山倉庫株式会社

本社事務所：茨城県坂東市神田山1129  
TEL：0297-36-8003 FAX：0297-36-8006

営業拠点：本社・石下・郡山・仙台

設立：1974年11月5日

従業員数：286名（2007年4月15日現在）

代表者：代表取締役社長 前山 諭

事業内容：一般倉庫業、一般物品の包装加工、自動車運送、  
ヘリポート管理運営、産業廃棄物収集・運搬、  
人材派遣・請負、公衆浴場・飲食店・旅館の経営

車両台数：131両（大型 101両、中型 24両、トレーラー 6両）

SR導入：全車両にSRPocket導入済み 2007年6月導入

「お客様第一」の企業姿勢で「お客様のニーズにあった質の高いサービスをご提供し、常に顧客満足度を上げ続けること」が活動の柱です。首都圏の空港、港湾、高速道路へのアクセス地点ともいえる茨城県坂東市の地の利を生かし、安全・敏速・確実にお客様のお手元にお届けします。人とのつながりに必要なコミュニケーションを大切にしたいスピーディな対応で、お客様の求める品質にお応えするための改革・改善を続けるチャレンジ集団をめざしています。

#### 会社概要



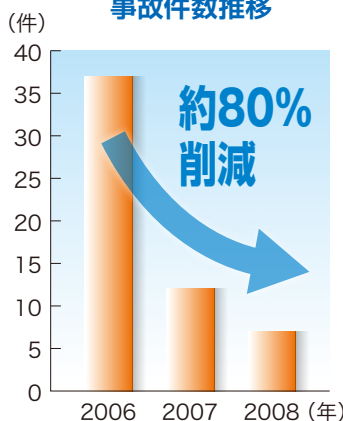
## 1 SR導入の効果

**1. 導入年から事故激減！約80%ダウン**  
 ▶ 導入前 2006年度（1月～12月）37件  
 ▶ 試行後、導入開始 2007年度（1月～12月）12件  
 ▶ 本格運用開始 2008年度（1月～12月）7件

**2. 事故内容の変化により保険料・修理費等の大幅コスト削減に成功！**  
 2007年度のコストは、前年の1/10に削減！

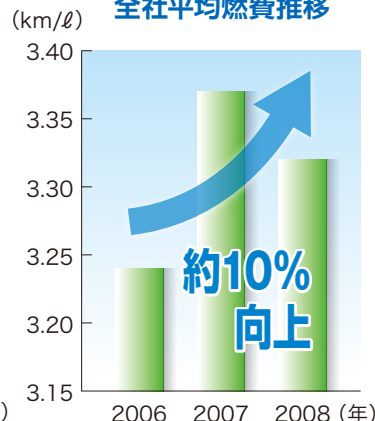
**3. 燃費向上！**  
 EMS導入年から約10%アップ！

#### 事故件数推移



※危険挙動件数が半減  
※点数も上昇中

#### 全社平均燃費推移



※07年8月から倉庫間輸送形態変更のため  
2t車両の平均燃費が下がり、08年は微減

## 2 SR導入の背景

とにかく事故を無くしたい！事故をもっと減らすためにはどうしたらいいか。ドライバーの意識を変える必要があり、環境改善や教育材料をさらに充実させなければならないと感じていました。

事故やヒヤリハットの傾向をつかみ、運転事例を分析できると、すべての車両に設置でき、公平に評価できること。この条

件を満たす安全機器を求めていたとき、データ・テック社のセイフティレコーダ（SR）と出会いました。SRは、当社の考えている安全への仕組みづくりの構想に沿っているうえ、ドライバー教育に使えるデータを得られることがわかりました。また、EMS適合機器でもあったことから、LEVOのEMS普及事業制度を用いて導入しました。

# 安全を生み出す「前山倉庫流」社内体制づくり

## 1 安全意識改革をどう進めるか ～ドライバーの運転傾向や実態をもとに対話する～

安全機器を導入しただけでは事故は減りません。「人任せ」「物任せ」など他力本願で事故を減らすのではなく、もっと安全とは何かという課題と正面から向き合うことが必要と考えました。まずは、「安全意識を変える」ために社内環境の改善をしました。

### 1. 会話ができる環境をつくる

基本となるドライバーに指示を出す『点呼』を中心に据えて、まずは点呼場の環境づくりから着手。ドライバーとの会話を作ることが目的です。ドライバーが入りやすい雰囲気作り、意識へ働きかける掲示、関係者がすぐに集合できるレイアウトへ、問題点があれば改善を繰り返してきました。脳に刺激を与え、緊張感を維持できる、常に新鮮な目で見てもらえる空間であるために、掲示物の細部にまで気を配っています。

#### <ポイント>

- ①ドライバーが来たらすぐに集まれるレイアウト
- ②会社からの指示は顔を合わせて対話し、書面で渡す
- ③新鮮な環境を整えるために、半年に1回はレイアウトを変える



工夫が光る、本社営業所の点呼場

### 2. 運行管理者は安全運転支援のための材料をそろえる

ドライバー本人に自分の運転のクセを納得し、改善しようと思ってもらう必要があります。そこで過去に起きてしまった事故の傾向や運転実態について分析しました。また、SRから得られるデータからは、各ドライバーの日頃からの運転に対する実態が浮かびあがってきます。例えば、事故事例と運転のクセをつき合わせて対話をする。根拠あるデータの裏づけがあれば、納得度合いも変わってくるのです。

#### <ポイント>

- 事故・ヒヤリハット事例を分析し、ドライバーの運転傾向をつかむ
- 時間帯
  - 場所
  - 挙動傾向
  - SRの「運転診断結果」と「指導書」

#### 【出発時】

1. 出社
2. 点呼場にて業務確認。会社からの指示は対話し書面で渡す
3. メモリースティックを持ち出す
4. 出発 メモリースティックをSRに差込み、運行スタート

#### 【帰社時】

- ①メモリースティックを持って、点呼場へ
- ②担当者：メモリースティック回収、データ取り込み
- ③運行管理者：結果（点数、指導書）がでたらすぐに赤ペンを入れて対話
- ④その他業務確認
- ⑤メモリースティックを所定場所に保管
5. 業務終了「お疲れ様でした」

#### ドライバー業務の流れ



点数



指導書



#### 組織図 (運輸部門)

代表取締役

部長

運行管理課  
安全衛生委員会

営業所運行管理者

乗務員

## 2 安全を根付かせる社内体制へ ～データは鮮度が命！～

データは鮮度が重要です。その日のうちにデータを取り込み、点数や指導書を目にしなければ意味がありません。SRの運用を進める中で、スタッフを1人増強し、夜でもデータを取り込める社内体制を整えました。経費は確かにかかりました。しかし、

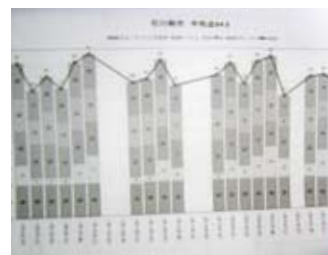
事故を発生させてしまったときに必要とする労力や費用を考えれば、事故防止のために力を注ぐことの方がよいと考えています。事故削減効果を生み出せば結果的に労力も費用も削減できるからです。

## 3 月ごとのSR点数推移グラフもチェック ～形状から運転傾向を読み取る～

毎日、SR『運転診断結果』と『指導書』をその日のうちにチェックしていますが、それだけではなく、毎月1か月分の点数推移についても1人ずつ確認しています。推移グラフの形から「得点も高く安定傾向」「上昇傾向」「下降傾向」「低い点数で上下なく維持」「点数が上下しムラがある」など運転傾向を把握しながらドライバーと対話します。「本当に見られている、見てもらえている」と実感することで、ドライバーにがんばる気持ちが生まれるのです。点数が安定してきた時に事故が減ったという実感もあります。



グラフにすると右肩上がり傾向。  
この調子でがんばって！



高い点数で安定傾向。  
いつも安全運転お疲れさまです。

## 4 表彰式を開催

当社では事業部ごとに様々な取り組みをし、年間での優秀者を年1回表彰します。運輸部では安全優秀者を表彰(①車両の美化、②SRの年間平均点数、③無事故の視点から選考)2008年度は3名が表彰される予定です。



2007年度最優秀ドライバー石川さん

2007年4月14日の社員表彰にて運輸部門最優秀ドライバーに石川裕市ドライバー(本社営業所)が選ばれました。

|        |              |
|--------|--------------|
| 総合2位   | 深沢 隼人「石下営業所」 |
| 3位     | 秋山 裕司「石下営業所」 |
| 営業所優秀賞 | 郡山営業所        |

### まとめ

SR導入当初はドライバーから「点数が出ていやだ」などの意見もありましたが、良い点を褒めつつ改善点を指摘する安全指導の積み上げを根気強く続けました。毎日の対話の積み重ねにより、日常から安全を意識した運転になり、結果、大幅

な事故削減につながりました。

今年の目標は、前年度事故件数の半分を達成すること。安全への活動と、目標達成に向けて、果敢にチャレンジし続けています。また、燃費向上とCO<sub>2</sub>削減の取り組みも今後の課題です。

## 前山倉庫株式会社様の運行現場での現状

### 本社営業所 染谷所長(統括運行管理者) にインタビュー



スタッフの皆さん。中央が染谷所長

事故削減の命題のために、現場での抜本的な安全意識改革を実行。本社営業所のドライバー約70名分のデータすべてを各人ごとの専用ファイルに整理。誰がみてもすぐにわかるように整理整頓されています。強い意志をもち、社内体制を作り上げた染谷所長にお話をお伺いしました。

#### Q1 ドライバーを教育する立場の 運行管理者に必要なものは?

影から見張っていない限り、出かけてしまったドライバーの運転は全く見えません。だからといって、常に見張っているわけにもいきません。見えない状況下で、指示を守ってもらうためにどうしたらいいか、指導力が問われます。

必要なものは、データから運転操作を読み取れる分析眼を持ち、様々な状況の例を挙げられるだけの引き出しをいっぱい持つこと。ドライバーが納得できる話の組み立てができること。経験も必要です。それに加えて、ドライバーが「本当に見られている」と感じずにはいられなくなる状況を作ることと同様です。見られているは、見てくれているという信頼にもつながります。

#### Q2 ドライバー教育のポイントは?

会社側が言いたいことをいっただけでは、根本的な安全運転教育にはなりません。管理されること・人と接することが嫌いだからドライバーになった、という人も多いですからね。こちらのいうことに耳を傾けてもらうために、まずは良い点から褒めて話を聞いてもらえる状態にする。怒りから入ってはだめ。話の持っていくかたです。ドライバーの意識がどのような状態なのかは、データが示してくれます。点数がよくなると、ドライバーも自分の努力を褒められるので嬉しくなるようです。

#### 話しの進め方の例

運行管理者:「前月に比べて、点数がよくなってきたね。」

ドライバー:「聞こうという姿勢になる」

運行管理者:「ハンドルの点数が上がればもっと良くなりそうだね」

ドライバー:「ハンドルの点数ってどうしたら上がるんですか?」

#### Q3 仕組みづくりのため、ドライバーの 協力も必要はあらず。その方法は?

管理者から指摘されるよりも、同じ仲間のドライバーに言われることは聞き入れやすいようです。ドライバー同士が刺激しあう環境が理想的です。ドライバーの中のリーダー格の理解を得て、一緒に取り組むことで環境を作るのもひとつの方法だと思います。また質問をしてくる人は、前向きな人。効果も早く得られます。

#### Q4 “運転診断結果”の使い方で心がけていることは?

印刷して、ただ目を通すだけの「運転診断結果」では意味がない。そこに書き込まれる赤い文字があるから、目に心に留まるものになる。「ちゃんと見ているよ」というドライバーへの合図でもあるわけです。その日の傾向だけをとらえてコメントするのではなく、前日の運転と比較して、以前の運転に対して、という継続した視点から赤入れする。ドライバーも驚くほどの鋭い視線で、細かいところまで書き込みますよ。



赤入れに溢れる診断結果

#### Q5 安全の仕組みづくりの中で大事なことは?

会社のシステムとし「根付かせる」という点。それを受け継いでいく人を育てることも大切です。SRについても同様に、使いたいデータを自分たちですぐに出したり、作成したりできることが重要です。データ・テックの6ヶ月間フォローアップ制度を活用し、「こういうことに使いたい」など話し合いながら、教育材料を自分たちでそろえられるようにしました。パソコン操作やエクセルデータの活用方法を教えてもらい、現在はフォローアップも終了しました。運転傾向のグラフなども自社で作成しています。

# 人とくるまのテクノロジー展2009に出展します



2009年 **5月20**日(水)～**22**日(金)  
**10:00～17:00**

in パシフィコ横浜 展示ホール

入場無料／登録制

主催 社団法人自動車技術会

## データテック展示テーマ

### 安全と環境

「事故を減らすにはどうしたらいいか？」

ドライブレコーダの本質とは？

事故予防に役立つ診断をし“処方箋”を提供すること

(株)データ・テックブース

小間番号 **147**

&ドライブレコーダコーナー

ご来場お待ちしております

- 交通事故は日常の運転の中に潜んでいる
- 事故を減らすためには  
「日頃から習慣になっている運転特性(クセ)」  
をつきつめて明らかにする必要があるのでは？
- 高齢者事故など、安全機器だけでは解決  
できない人間的課題をどう捉えるか？

#### データ・テック内プレゼンテーションブース

- SRで“はかる”技術のご紹介
- SR製品紹介・M12P(自律航法ユニット)など
- SR簡単お試し実験

※プレゼンテーション時間など詳細は、データテックホームページにてご案内します。

#### データ・テック提供講演

新製品・新技術コーナー 第1会場

① 5月22日(金) 14:00～14:30

『交通事故を減らすために、どうしたらいいのか①  
～エビデンス(車両挙動)をもとに運転を評価し、  
事故予防を考える～』

講演者

佐賀大学大学院 医学系研究科 教授 博士(医学) 堀川 悦夫 様

② 5月22日(金) 16:15～16:45

『事故を減らすために、どうしたらいいのか②  
～SRを活用して事故防止と環境への配慮を図る～』

講演者

北関東物流株式会社 代表取締役社長 神成 光輝 様

#### 併催フォーラムにて技術紹介 場所: アネックスホールF203

5月22日(金) 13:30～17:00

企画: 自動車技術会 ヒヤリハットDB活用委員会

「交通安全にどこまで貢献できるか、ドライブレコーダ!」内にて紹介(10分間)

データ・テック プレゼンテーション内容

『安全が実感できるドライブレコーダ』  
～SRで運転の意識改革～

## 株式会社データ・テック SRイベントスケジュール(6・7月)

イベント参加には、**事前申込みが必要**です

### ■大阪地区セミナー 6月12日(金)

会場: ウェルシティ大阪 厚生年金会館  
(大阪府大阪市西区)

### ■東京地区セミナー 6月12日(金) ※日程が変更になりました

会場: 埼玉県トラック総合会館  
(埼玉県さいたま市大宮区)

### ■お客様交流会 7月24日(金)

会場: 大田区産業プラザPiO  
(東京都大田区)

【お問い合わせ先】

株式会社 データ・テック  
広報まで

TEL 03-5703-7060

※日程、会場等は都合により、変更する場合があります。変更になる場合は、事前にご連絡いたします。

## 株式会社データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12  
TEL.03-5703-7060 FAX.03-5703-7063  
http://www.datatec.co.jp